



子供たちとお家の方々との交流！～道徳の教材を通して～

1年生は「かぼちゃのつる」を学習しました。子供たちの感想をもとに、ご家庭でもお話をさせていただき、お家の方々にもコメントをいただきました。その交流の様子を一部、ご紹介させていただきます。

「かぼちゃのつる」のあらすじ

かぼちゃは、みつばちやすいかが注意してくれるのですが、全く聞かず「よけいな世話だ！」と言い返し、道を超えてツルを伸ばしていきます。子犬に「ここはみんなが通る道だよ。こんなところに伸びては困るよ。」と言われるのですが、「またいで通ればいいじゃないか」とかぼちゃは言い返します。そして、とうとう、荷物を積んだ車がやってきて、かぼちゃのツルはひかれて、切れてしまいます。

たくさんの方がちゅういをしてくれたのにどうして？
そんなことばかりしていたら、だれもたすけてくれなくなるよ。(1年生)

自分の気持ちや意見を伝えるのは、とても大切だけど、人が嫌な気持ちになったり、人の迷惑になったりすると、他の人は困りますね。注意してくれる、教えてくれるために声をかけてくれたら、「ありがとう」が伝えられる人間でありたいと思いますね。(お家の方)

わがままなかぼちゃがけがをすることは、仕方がないことと思いますが、わがままなかぼちゃがけがをして、かわいそうと言いました。平等に考える心に優しさを感じました。教えられました。(お家の方)

かぼちゃはわがままだとおもう。すいかのいうことをきいておけば、けがをしなかった。だけど、かわいそう。(1年生)

お家の方々のコメントを読ませていただくと、子供たちの話に耳を傾け、一緒に対話をしてくださったことがとても伝わります。1年生は、「わがままばかりしてよいのか・・・」を考える学習でした。わがままをしている人に天罰が下った時、人は「仕方がないよ」と思ってしまいがちですが、1年生の感想の中には「それでも、けがをするのはかわいそう」と考える子もいました。そんな風に考えてくれる友達がいるなら、わがままな心を持った人もすぐに改心していけますね。友達同士で考えを交流し合えたこと、また、お家の方々とも考えを深め合えたことは子供たちにとって貴重な時間となったと思います。ありがとうございました。

福井県からの若葉小視察

11月28日(火)福井県教育庁の方々や福井大学の教授の方々12名が若葉小の視察に来られました。熊本市の教育の実際を見るためです。素直で、一生懸命学ぶ若葉小の子供たちの姿に感心しておられました！

